

美術科授業案

日時 平成26年6月26日(木) 4校時

生徒 2年A組 男子13名 女子21名 計34名

授業場 美術室

授業者 更科 結希

1 題材名 「美しく光を透かすランプシェードをつくろう」

2 題材について

(1) 題材観

本題材は、暮らしの中にあるランプシェードという工芸品について着目し、生活の中での灯りやシェードの役割について学ぶ。また、表現する事を通して生活と密接に関わる工芸・デザインについて考え、形の美しさに着目するために必要な視点を自ら考えさせたい。

学習指導要領において「内容 A 表現 (2)」中のアに「目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて形や色彩、図柄、材料、光などの組み合わせを簡潔にしたり総合化したりするなどして構成や装飾を考え、表現の構想を練ること」とある。様々な工芸やデザインの題材は考えられるが、今や暮らしの中のインテリアは選べる時代となり、自らの美的感覚を働かせて表現していくために「光」と「紙」といった加工しやすい素材を用いたランプシェードは最適であると判断した。

今回使用する紙の素材はファイバークラフト紙といい、水につけると硬化する性質を持っている。そのため、従来骨組みを必要とした過程がなくなることから、純粋に形の良さについて考えさせることができると考えた。ランプシェードの役割を考えれば、光に透かした時にどのように見えるかが重要であり、「光を美しく透かす」ことを目指した形の形成に授業の視点を置きたい。

(2) 生徒観

省略

(3) 指導観

本題材では、一枚の紙を加工し作品のシェードを作るため、紙の加工法において立体的な形の形成につながる方法を選択したものを提示する。そのため、どの加工法を選択し試作するか、またその加工した作品をより美しく見えるようにするための工夫ができる過程を設定し題材を構成することにした。また、生徒の目標とする形と実際にできる形の差異をできるだけ少なくするために、協働の場を設定しあらゆる視点での意見を参考としながら表現活動を行えるようにしたい。

【研究の視点】

「やるべきことの納得」に関わる手立て (授業構成) A

題材設定において、生徒の生活や今後の考えを培うために必要であると判断する題材を設定し構成していく。生活とインテリアに着目し題材設定を行った。使うことのできる表現としての工芸を考え、身近な暮らしに

どのような形があれば、より良い暮らしに繋がるか、また自らが美しいと感じられる形はどのようなものかを考えていることで「やるべきことの納得に繋がる」と判断した。また、一枚の紙から立体的なものを表現することから、様々な紙の加工方法について必要な方法のみを学ぶことで、工夫することで多種に渡る表現に繋がることから技法面においても、やるべき事の納得につながると考える。

「やりたいことをみつける」に関わる手立てB

表現する過程で、既習事項を生かし「自己基準」を設定し批判的に見る場を設定することを手立てとする
 研究変数となる手立てBは、形をより美しく感じるために自らが形の具体的な基準を設け、果たして現段階での形が最良であるか判断する過程を設定する事とした。判断するためには「本当にその形で良いか」という別の視点で改めて見る事が必要となる。良いと判断していても、「本当はだめかもしれない」という判断のもと試行することとなる。その際に、1つの基準でどのような変化が考えられるかは生徒自身が考えておく必要があり、それこそが、形をより美しくするための意識の芽生えであると考え。そして、この手立てでは、試行する前の過程を選ぶことも考えられ、生徒の「やりたい事をみつける」ことにつながるだろうと判断する。

3 題材の目標

光の性質や効果を学び、美しい光の空間を演出するために、紙の加工法を学び試行することができる。また、より良い形に近づけるための自らの基準を持ち、工夫しながら表現することができる。

4 評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想・構想	創造的な技能	鑑賞
ア ランプシェードのデザインに関心を持ち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	ア 造形的な美しさなどを総合的に考え、目的に合った表現の構想を練っている。	ア 素材の加工の仕方を身につけ、表したいイメージを持ちながら意図に応じた表現方法を工夫し、見通しをもって表現している。	ア 形と機能との調和のとれた洗練された美しさ、つくり手の糸などを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解している。

5 題材指導計画（6時間計画）

	学習事項	主な学習活動・手立て	評価			
			関	発	創	鑑
1	紙についての学習 ・自らが考える紙の加工に挑戦する	○あかりやランプシェードの役割を考える ・光を和らげる効果、照明をホコリから守る、光の方向づけをす、環境によって異なる照明の種類 ○紙の加工にはどのような方法があるか試行する A ・ちぎる、ねじる、丸める、	ア	ア		ア
2	紙の加工を試す ・上質紙を複数枚使い、資材を基に加工の幅を広げ	○ファイバークラフト紙の特性について学ぶ ・ファイバークラフト紙での加工を試す ○折る、折る+切る、差し込む、曲げる、ビルダーカード、台紙		ア	ア	


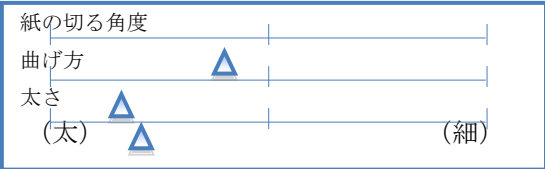
	る	<p>を詰め曲線，といった基本的な加工を試作する A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの加工法に挑戦した上で選択できるようにする ○いくつかある加工法から作品に使用する方法を選択する 				
3 4 本 時	<p>試作の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画用紙を使い，実際の大きさに試作をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○抵抗のある画用紙を使い，実寸大での試作品をつくる ・紙の抵抗感によって加工の方法に変化があることを学ぶ ○自ら設定した視点を基に，自らの作品を批判的に判断しより良い工夫を行う B ・試作品でいいと思っているところについて意見をもらい再構成を考える。 	ア		ア	ア
5 6	<p>ファイバークラフト</p> <p>紙の加工（本番）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形の形成 ・形の固定 <p>鑑賞会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班による鑑賞会の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○形の修正を行いながら，形の形成を行う B ○切る，折る位置を決め水に10分ほどつけクラフト紙をやわらかくし，加工する。 ・加工後の形の形成の際には接着剤は使用できないため，クリップや紐などを準備しておく ○完成した作品を，制作段階で交流していた班で交流しその結果についても意見を述べ合う ○制作中に視点としていた項目について互いに評価する 		ア	ア	ア

6 本時案

(1) 本時の目標

形をより良くするための視点で自らの作品について判断し、より良い作品を目指し試行することができる。

(2) 本時の展開 4 / 6 時間目 (○…発問, △…補助発問, □…指示, 説明)

主な学習活動 (下位目標)	教師の働きかけ・手立て	【評価方法】・備考
<p>1 前時の学習を振り返ることができる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【生徒の予想される答え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形の大きさ・隙間の大きさ ・切り抜く角度 ・切り取る角度 </div>	<p>□前時では、試行作品を作り始めました。その時に、どのような視点を設定し、形を見てきましたか。</p> <p>△形の工夫で困った事はなかっただろうか。</p>	<p>【観察／ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の評価を見ながら自分の作品を確認
<p>美しく光が透ける形を目指して、形を変化させよう</p>		
<p>2 視点を基にどのような変化をさせれば美しい形か考えることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【生徒の予想される答え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切る角度 ・巻き方 太さ 光の漏れ方 </div>	<p>○みなさんが考えた視点でどのように形を変化させると美しいと感じるのでしょうか。</p> <p>△次の試作品はある視点を変化させたものですが、どんな基準だと考えますか。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>【観察／ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準を持つだけでは、より良い形につながらないことを確認させる
<p>3 自分の考えた視点では、どのような変化があるか考えることができる。</p>	<p>○視点を基にどんな形の変化が考えられますか。また、どの位置で自分は良いと判断しますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  </div>	<p>【観察／ワークシート】</p>
<p>4 試作品の中で部分に着目し、形の改善について試行することができる。</p>	<p>○自分の試作品で、「本当にそれでいいか？」と思うところを見つけましょう。そして、どのような改善方法があるか考えよう。B</p> <p>△どの箇所ですか。</p> <p>△自分で考える変化の仕方にはどんなものがあるか考えてみましょう。</p> <p>□どのように変化させることができるか、班の人に意見をもらいましょう。</p>	<p>【観察／試行作品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価が高く、他者評価の低い部分に着目させる
<p>5 試行してその結果を考えより良い形を決断することができる。</p>	<p>【ペアでの交流×3回行う交流方法】</p> <p>□どのように改善するとより良くなるか試してみましょう。</p> <p>○どのような変化がありましたか。また、どのような決断をしますか。</p> <p>□班の中で他の人の判断や工夫について聞いてみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に形を動かしたり、目安の線を入れたり、切断して判断する <p>【観察／試行作品】</p>

<p>6 今日の授業の取り組みを振り返ることができる。</p>	<p>ましょう。 <input type="checkbox"/>今日の取り組みを振り返り，次の時間実際のクラフト紙を使ってどのようなことに注意して作りたいですか。</p>	<p>【ワークシート】</p>
---------------------------------	--	-----------------